

★最新介護医療情報★

脊髄損傷の再生医療で国内臨床試験

(生命科学インスティテュート ミクス Online 2019.7.12 配信)

三菱ケミカルホールディングス傘下の生命科学インスティテュートは7月9日、多様な細胞に分化する能力を持つとされる Muse 細胞を用いた再生医療で、脊髄損傷を対象に国内で臨床試験を行うと発表した。受傷から2週間程度の亜急性期患者に対し単回静脈投与による有効性と安全性を検討する。早ければ2020年度にも承認申請をしたい考え。

治験では、Muse 細胞製品を目指し開発している「CL2020」を用いる。16歳以上75歳未満の脊髄損傷患者を対象に、筑波大学附属病院ほか10施設で行うことを予定している。非盲検、非対照で行う。目標症例数は10症例。亜急性期を対象にしたのは、急性期の炎症が収束し、血管新生・組織修復反応が盛んに起こるためだという。準備が整い次第、患者への投与を始める。

同社によると、脊髄損傷モデルラットに CL2020 を急性期から亜急性期に1回または2回静脈内投与した結果、後肢運動機能の改善効果が認められ、歩行可能となった。投与時期や投与回数が異なっても、運動機能の改善効果が認められたことから、臨床において単回投与による有効性と安全性を検討することにした。

Muse 細胞は、もともと生体内の間葉系組織内に存在する自然の幹細胞。そのため腫瘍化の懸念が少なく、目的とする細胞に分化誘導する必要がない。そのまま静脈内に投与するだけで傷害部位に遊走、集積し、生着して組織を修復するという特長を持つとしている。2010年に東北大学の出澤真理教授らのグループにより発見された。同社は CL2020 を用い、18年12月に急性心筋梗塞、同年9月に脳梗塞、同年12月に表皮水疱症を対象に治験を進めている。

マダニ感染症2人死亡 延岡、日南男性

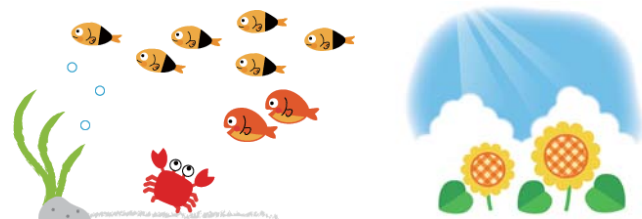
(宮崎新聞社 2019.7.12 配信)

県感染症対策室は11日、延岡市の60代男性と日南市の80代男性が、マダニが媒介する感染症「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」を発症し、その後死亡したと発表した。県内で死者が確認されたのは今年初めて。同室によると、延岡市の60代男性は6月中旬から下痢になり、同下旬には腰や脚の脱力感を訴え同28日に医療機関を受診。7月2日に感染が確認された。日南市の80代男性は6月下旬から発熱や食欲不振の症状があり、7月1日に医療機関を受診。同4日に感染が判明した。いずれも入院して治療を受けていたが、数日後に死亡した。発症前に農作業などの野外活動歴があり、体に刺し口があった。今年の感染報告は6件となった。

県内では昨年、12件の感染報告があり、うち4人が死亡している。これまでの事例では、農作業や山林作業中に感染したとみられるケースが多いが、庭仕事や散歩中の感染疑い事例もあるという。同室は「マダニは春から秋にかけて活動が活発になる。草むらややぶなどに入る際には、虫よけスプレーを使用し、長袖長ズボンなどで肌の露出を少なくし、かまれないようしっかり予防対策を」と注意を呼び掛けている。

地域ルピナス講習会のお知らせ

第35回忠岡地域リハビリ勉強会
⇒歩行の重要性について～理学療法士の視点から～
開催日：令和元年7月26日(金)
時間：午後6時30分～午後7時30分
場所：忠岡町文化会館 3階会議室
講師：ルピナス理学療法士 瀧本将史



第65回東大阪地域リハビリ勉強会
⇒糖尿病に対する理学療法アプローチ

開催日：令和元年8月22日(木)
時間：午後6時00分～午後7時00分
場所：東大阪市立東体育館 第三研修室
講師：ルピナス理学療法士 白石太郎



第25回城東地域リハビリ勉強会
⇒歩行の重要性について～理学療法士の視点から～

開催日：令和元年9月20日(金)
時間：午後6時30分～午後7時30分
場所：城東区民センター 中会議室
講師：ルピナス理学療法士 瀧本将史